

やざき しげる  
矢崎 茂

明治元年（1868）～大正13年（1924）

茨城県稲敷郡上之島村（現 稲敷市）出身



幼いころから向学心が強く、東京帝国大学医学部に入学し、明治29年（1896）東大卒業後2年間臨床医学を学んだ。

そして、明治31年（1898）5月、第5代豊橋病院（市民病院の前身）長に迎えられた。それを契機として、豊橋病院の施設は逐年拡充強化され、時代に即応した医療施設として万全を期すため、社団法人に改組するなど、当地方の代表的な医療センターとしての基礎を築きあげた。大正13年（1924）9月1日に病没するまでの26年間、豊橋病院の改善と地域医療のために尽くした。

豊橋市民病院を  
中興した院長